

開講学科		前橋工科大学 シラバス																																	
科目名	建築史	標準対象年次	選択/必修	科目コード																															
		2年次	選択	18103501																															
担当教員	加藤 旭光	単位数	学期	曜日	時限																														
		2単位	前期	火曜日	6時限																														
授業の教育目的・目標	<p>目的：古今東西の建築を読み解くために、時代背景や地政学といった視点から建築様式を理解されることを示し、個々人の建築に対する造詣に寄与する。</p> <p>目標：時代背景、社会に求められた要請に、建築・建築家はどのように応えたのかを検討する。建築の理念と、実現されていく過程の中で、建築家は何を考え、何を残そうとしたかを検討する。</p> <p>建築家の果たすべき役割、負うべき社会的責任について考える。</p>																																		
学科の学習・教育目標との関係	<p>自ら問題を発見し、自ら調べ、自ら考えて問題を解決する能力を持つ。</p> <p>機能と形態を結びつけて考えることができる。</p> <p>建築家が備えるべき社会的責任を理解する。</p>																																		
キーワード	西洋建築史、日本建築史、近代建築史、建築様式、建築家																																		
授業の概要	<p>ヨーロッパ建築の理解のために必須となる様式的理解を概説するとともに、そこに表れる造形や、理念を実現させるための技術の変遷などを読み解く。また、日本建築における造形、技術とその背景を概説する。ある時代、土地を代表する建築物について考察を重ねることで、建築の様式史的発展だけでなく、古代から現代までの多種多様な建築物を読み解く力を養うことを目的とする。</p>																																		
授業の計画	<table border="1"> <tr><td>第1回：</td><td>様式的理解のために（ガイダンス含）</td></tr> <tr><td>第2回：</td><td>西洋の建築様式 古代建築</td></tr> <tr><td>第3回：</td><td>西洋の建築様式 古代建築②</td></tr> <tr><td>第4回：</td><td>西洋の建築様式 中世建築</td></tr> <tr><td>第5回：</td><td>西洋の建築様式 中世建築②</td></tr> <tr><td>第6回：</td><td>西洋の建築様式 ルネサンス建築</td></tr> <tr><td>第7回：</td><td>西洋の建築様式 17, 18世紀の建築</td></tr> <tr><td>第8回：</td><td>西洋の建築様式 18, 19世紀の建築</td></tr> <tr><td>第9回：</td><td>日本の建築様式 住居</td></tr> <tr><td>第10回：</td><td>日本の建築様式 住居②</td></tr> <tr><td>第11回：</td><td>日本の建築様式 宗教建築</td></tr> <tr><td>第12回：</td><td>日本の建築様式 宗教建築②</td></tr> <tr><td>第13回：</td><td>日本の建築様式 宗教建築③</td></tr> <tr><td>第14回：</td><td>20世紀の建築と建築家</td></tr> <tr><td>第15回：</td><td>20世紀の建築と建築家②</td></tr> </table>					第1回：	様式的理解のために（ガイダンス含）	第2回：	西洋の建築様式 古代建築	第3回：	西洋の建築様式 古代建築②	第4回：	西洋の建築様式 中世建築	第5回：	西洋の建築様式 中世建築②	第6回：	西洋の建築様式 ルネサンス建築	第7回：	西洋の建築様式 17, 18世紀の建築	第8回：	西洋の建築様式 18, 19世紀の建築	第9回：	日本の建築様式 住居	第10回：	日本の建築様式 住居②	第11回：	日本の建築様式 宗教建築	第12回：	日本の建築様式 宗教建築②	第13回：	日本の建築様式 宗教建築③	第14回：	20世紀の建築と建築家	第15回：	20世紀の建築と建築家②
第1回：	様式的理解のために（ガイダンス含）																																		
第2回：	西洋の建築様式 古代建築																																		
第3回：	西洋の建築様式 古代建築②																																		
第4回：	西洋の建築様式 中世建築																																		
第5回：	西洋の建築様式 中世建築②																																		
第6回：	西洋の建築様式 ルネサンス建築																																		
第7回：	西洋の建築様式 17, 18世紀の建築																																		
第8回：	西洋の建築様式 18, 19世紀の建築																																		
第9回：	日本の建築様式 住居																																		
第10回：	日本の建築様式 住居②																																		
第11回：	日本の建築様式 宗教建築																																		
第12回：	日本の建築様式 宗教建築②																																		
第13回：	日本の建築様式 宗教建築③																																		
第14回：	20世紀の建築と建築家																																		
第15回：	20世紀の建築と建築家②																																		
受講条件・関連科目	<p>受講条件：特になし。受講計画から2年次以降に受講することが望ましい。</p> <p>関連項目：特になし</p>																																		
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> 指定する教科書はないが、講義に合わせプリント資料を配布する。 講義ではスライドを使用し、視覚的に理解できるように配慮する。 講義毎に小レポートを課し、講義の理解度を深める。 期末試験と小レポートを合わせて成績を付ける。 																																		
テキスト・参考書	<p>「西洋建築様式史」（熊倉洋介、星和彦他著、美術出版社）、「図説 建築の歴史」（西田雅嗣、矢ヶ崎善太郎著、学芸出版社）、「コンパクト版 建築史」（「建築史」編集委員会、彰国社）、「西洋建築史図集」（彰国社）、「日本建築史図集」（彰国社）</p>																																		
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> 試験（30%） レポート（70%） 																																		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 小レポートに出欠のチェックも兼ねる。 参考書をもって様々な建築物の見学に出かけてほしい。 																																		